

国際ロータリー第2500地区第6分區

帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY
SERVING
HUMANITY

2016-2017年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進
幹 事 石 川 博 機
メディア委員長 上野 敏 郎

「**活** : **かつ**」

第1554回例会

平成29年2月14日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

S.Mori



2016-2017年度 国際ロータリーテーマ
【人類に奉仕するロータリー】
2016-2017年度国際ロータリー会長
ジョーンF・ジャーム

ガバナーテーマ
【ロータリーの明日の為に、積極的に行動しよう】
国際ロータリー第2500地区 ガバナー
駒形 曙 美

月間テーマ
【平和と紛争予防 / 紛争解決月間】

- ◎起 立 加藤雄樹 SAA
- ◎友情の握手 加藤雄樹 SAA
- ◎点 鐘 高田進 会長
- ◎開 会 宣 言 加藤雄樹 SAA
- ◎ロータリーソング 「四つのテスト」
- ◎ゲスト紹介 高田進 会長
とかち岳峯会 会長 川合壽岳 様
- ◎ビジター紹介 鎌田 勉 副会長
- ◎会 食

会長挨拶

高田 進 会長



皆さんこんにちは。
先週の七クラブ合同例会は各クラブ会長・幹事のご協力と会員皆様のご協力により無事終了しました。

二百数十名のご出席で緊張しましたが、前日のリハーサルの成果もあり、また友情の握手も連帯感が沸き良い雰囲気の中、進行する事が出来ました。

講師のネルソンさんも夜は北の屋台で音更クラブの行木会長と過ごし翌日皆さんに宜しくお伝えください、との伝言を残し気分よく帰られたとの事です。

私自身も記憶に残る良い例会となりました。

さて、先日上野会員が、山形の寒河江RCへ提携クラブの事もあり、先方の会長以下歓迎を受け、例会にも出席してきました。上野会員の出身地でたまたま出張と重なりタイミングもよく、また規模や歴史を聞くと非常に

縁を感じるクラブです。

次回の理事会で最終的に提携の可否の結論を出したいと思っております。

宜しく、お願いします。

会務報告

石川博機 幹事

◎帯広東RC 夜間移動例会開催のご案内

日 時：平成29年2月28日(火)

午後6時30分

場 所：幕別パークホテル悠湯館

会 費：4,000円

宿泊別途：4,000円

〈送迎バス〉 集合時間：午後5時30分

集合場所：パソコンランド駐車場

ニコニコ献金

親睦活動委員会 加藤 肇 委員

- 高田会長 7クラブ合同例会無事終了しました。ご参加、ご協力に感謝して。
- 石川会員 宮古島への旅に行く皆さん、楽しい思い出にのこりますよう。



- 福岡会員 誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- 板倉会員 1月26日胃がん手術し無事帰ってきました。
- 西藤会員 深澤さん、心からなるチョコありがとうございます。
- 大塚会員 10～12日仙台の孫の1才の誕生日に行ってきました。行きはフェリー、帰りは新幹線の旅でした。
- 上野会員 発達障がいを持ちながら絵を描くことで生きようとする少年「濱口瑛士絵画展」は大盛況の中今日で終了します。どうもありがとうございました。
- 西田会員 深澤さんからの心ばかり頂きましたが、来月忘れちゃったらどうしましょう。
- 古川会員 年末家族会に出演して頂いた加藤恵理奈さんが全国的に大活躍です。昨日の勝毎掲載や高橋竹童さんと大阪ディナーショーも大盛況とのことです。うれしかぎりです。
- 加藤(武)会員 本日のプログラムはメディア委員会です。宜しくお願い致します。
- 加藤(肇)会員 1ヶ月ぶり位の例会参加です。ニコニコします。

出席報告

出席・プログラム委員会 宮前 克則 委員

1月までの100%出席者

池田会員、石川会員、上野会員、加藤(昭)会員、
鎌田会員、神田会員、齊藤会員、西田会員、
深沢会員、福岡会員、宮前会員

回数	日付	会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席者	メイクアップ	欠席数	出席率
1549	01/10	39	34	29	2		91.2
1550	01/17	39	32	23	2		78.1
1551	01/24	39	32	19	5		75.0
1552	01/31	39	32	24	3		84.4
1月計		156	130	95	12		82.3

プログラム

メディア委員会 加藤武志 副委員長

【ゲスト紹介】

皆さんこんにちは、本日はメディア委員会担当でございますよろしくお願いいたします。

今日のゲスト卓話をお願い致しました皆さんもご存じの方も多いと存じますが、公益社団法人日本詩吟学院認可とかち岳峯会会長川合壽岳先生です。



私の詩吟のお師匠さんでありまして、今から15年前当ホテルでの結婚披露宴で新郎新婦の入場吟に心を打たれ、それから川合先生に詩吟を教えていただいております。そのようなご縁で、また、上野委員長からも詩吟についてお願いをしたいということで、今日お招きを申し上げます。

本名、川合一壽様、昭和24年帯広市生まれでございます。当帯広東ロータリークラブ元会員川合政雄さんのご長男さんです。帯広小学校、帯広第一中学校、帯広柏葉高校、千葉工業大学の建築工学に進まれまして、その後一級建築士として宮坂建設工業さんへ勤務をされております。同社常務取締役、グループ会社の寿ホーム、エンジニアリング株式会社の専務取締役を歴任、後平成27年3月65歳で退任されております。

その後川合コンサルティングオフィスを立ち上げ、事業をされるかたわら、自らの趣味でもあります、また詩吟の指導者でもありますご両親の後を継がれ、とかち岳峯会の役員として、また昨年12代とかち岳峯会会長に就任をされまして現在は十勝管内を始め全道全国で詩吟の指導者として活動をされております。

ちなみに一昨年東京での、全国大会に出場されまして全国で五傑に輝き、現在全国からも注目をされている方です。

それでは川合先生お願いを致します。

テーマ：【詩吟、始めませんか】

とかち岳峯会 会長 川合壽岳 様

皆さんこんにちは。大変ご丁寧にご紹介をいただきましてありがとうございました。自分の経歴がそうだったかなって、ちょっと今思ってる位でございますけど……



今日皆様の前で詩吟に関わる事を何かという上野様のお話もあったようですが、詩吟というのはまず吟ずるということに終始するのですが、詩吟をやっている中でその詩を上手にカラオケみたいに歌って点数が出るわけでもない、その作者とかその詩を取りまく時代の環境とかそんなことを私どもは勉強している訳です。

私どもの日本詩吟学院というのは、全国に180の私どものとかち岳峯会というような会がありまして、約5万人強の会員が北は北海道、南は沖縄までいらっしゃいます。

十勝管内には今450人、全道では5,000人という仲間が日々詩吟の稽古に励んでいて、年に1回の全国大会にいてそこで何か冠をいただけてくることを目標にしている人もいますし、道場で毎週お茶を飲んで時間を過ごすのも、楽しみにしている人もいます。そのような中で活動をしている会でございます。

そのような中で今皆様は何をお話ができるか、何か心に一つでも残ればなと思っております。

1月に二カ所位からちょっとやってくれないかと話を町内会でありまして、何かをやって欲しいということで「初夢」という吟をやりました。

波静かに 亀遊ぶ 恵方の海 七人乗り合い 蓬萊に棹さす

皆さん頭の中で漢字がババババと浮かんで来たと思うのです。波静かに亀遊ぶそこまではいいですねお尻にヒゲの生えた亀さんです。

つい先日終わってしまったのですが恵方の海という言葉が出て来ました。皆いっぱい飲み始めているのですね、恵方の海とは分かりますか？恵方巻きなら知っているよ！恵方巻きって何で恵方巻きなのか知ってますか？知らない！恵方というのはおめでたい方角です。今年の恵方の方角は？そんなの毎年同じ方角だべ！違う毎年恵方は変わる、今年は北北西から7度30分傾いた所ですよ！といたら。え！そんなに細かい話かいとか。

七人乗り合い蓬萊に棹さすといったら、七福って七福神ですよそうだよ分かってるよ、分かりますか七福神分かりますかいますか？恵比寿、大黒は出るのですが、あっちから弁天とか何とかかかいうのですが、七つまともにはなかなかいえないようで、そしてこうですよとお話した後に、この中に1人女性がいますのは分かりますか？ときいたらこれはすぐに分かりましたね！

この中で1人だけ日本人がいるのですがといたら、うそ全部日本人で無いのといわれましたが、1人しかい

ないのです。いろいろ声が上がりましたが「えびず」さんしか日本人がいません、後は中国人かインド人です。インド人って誰と聞かれたので、あなた方の好きな弁天さんはインド人の神様です、後は中国の神様何とか天とつくのは神様の位で天という位です。

実在した人物が3人いますだれでしょうか？と話したら、飲むのもやめて話で盛り上がりました。

それを終わった後に詩吟をやったのです。ここだけの話だけのこの間、全国の大会で日本一になったのですといったら、丁度テレビで横綱が誕生したばかりの日でしたから、優勝といったら喜んでくれまして、それをいいことに今日はまたそんな話をしようとおもったのですが、二月ですのでそういうわけもいきません。

今日はロータリアンの皆様の前での話ですからそうも行かないということで、皆様の前に春望という詩を用意いたしました。その後に松尾芭蕉の「偕も義臣すぐ」といってこれもちょっと関わりがあるので、そんなことでお話してみたいと思います。

詩吟も後ほどやりますので、少し詩の内容をご理解いただいた上でかなと思います。

春望というのは春(はる)望(のぞむ)と書きます。日本語で書き下してありますけど、中国の杜甫という人が作った詩で五つの言葉五音というのですけど五音を一句としてそれが八つある律詩という詩です。

杜甫という方は西暦712年生まれ西暦770年に58歳で亡くなりました。どんな時代だったかといえますと日本では奈良時代と平安時代のその間でした。

この人の時代には有名な李白という人もいました同じ時代です。ここでまた有名な人がこの時代にいます唐の第9代皇帝である玄宗皇帝です。

玄宗皇帝というとすぐ横にいるのが楊貴妃。私は女性の話が好きなものだから脱線するとそっちいっちゃうのですけど。中国の四大美女「西施」「王昭君」「貂蟬」「楊貴妃」ネットで見て下さい。たいした可愛い顔してないけど美人なのです。

楊貴妃はその当時のやりでポッチャリで非常にグラマラスな人だったようです。李白が楊貴妃のことを、面白おかしく書いたら玄宗皇帝に怒られたとか。

私たちの全然知らない、1200年前位のそのようなエピソードが、聞こえてきたりするのですよ。

その時代に何が起きたのだろうか。皆さんもご存じのように、安禄山と史思明による「安史の乱」というのが丁度その頃にありました。

玄宗皇帝の時代です楊貴妃を結果的に嫁さんにもらったのですけど……。16歳で楊貴妃は宮廷に入ったのですけど最初は玄宗皇帝の息子の嫁さんとしてもらってました。でも玄宗皇帝の嫁さんが亡くなったので、息子から離してしばらく宮女としていて、26歳の時に貴妃という位になりました。そこから玄宗皇帝と楊貴妃の恋愛が宮廷の中で始まるわけです。

そしたら玄宗皇帝は仕事をしなくなりました。奥の方ばかりいて帰ってこなくなりました。何故だろうか？楊貴妃が奥にいたからです。

もう表の仕事をしなくなりました。そうなる政治が乱れてしまって、楊貴妃のいとこの陽国忠というこの人は悪いやつなのですけど好きなことをやり始めた。

そのころの北京のそばにいた安禄山という武将が長安で悪いことをしている陽国忠に怒ってしまい、そんな政治はだめだといって洛陽をまず落として洛陽に居を構えて755年に長安に攻め入り楊貴妃と玄宗皇帝が仲むつましくやっていたのだけど当然都を追われました。

756年に都を捨てた、玄宗皇帝と楊貴妃が近衛兵と一緒に逃げるのです。その近衛兵の中でなんで俺たちがこんなところに逃げなきゃいけないんだ、話がおかしいのではないか？陽国忠が悪い陽一族が悪い楊貴妃が悪いとなって、殺せという話になって馬嵬という村で玄宗皇帝の命令で首を吊って死んだという話になっています。これで玄宗皇帝と楊貴妃の恋愛の話は終わりです。

そのころ杜甫はこの役人をしていたのです。玄宗皇帝とその息子の肅宗の後を追って外に出たら、賊軍に捕まって牢屋につながれて1年過ごすのですけどその中で作った歌が「春望」この時に出来た詩なのです。

世の中の騒乱の戦争の中、皇帝は逃げてしまった。楊貴妃と玄宗皇帝の恋愛の物語はそれから60年位たって、白居易(白楽天)という人が物語を書いた、その物語が日本に伝わってきたのが平安時代だったのでした。

そこで紫式部であるとか清少納言であるとかこういう人たちが、その白居易が書いた「長恨歌」7文字で120句、玄宗皇帝と楊貴妃のなれそめから天国にいつてしまってお星様になりましょうという、7月7日の七夕の日に誓い合ったこと、そして私たちが死んでも天にあっては比翼の鳥になり地にあっては連理の枝となりましょう。

そんな物語が日本に伝わってきて紫式部、清少納言、菅原道真の詩にも影響したということがあります。

杜甫が何を書いたかという春望の通訳を述べます。



1行目

都長安は賊軍に攻められ見る影も無く破壊されてしまった、ただ周辺の山や河だけは依然として元の形をとどめている。町はすっかり荒れ果て人影も少なく再び巡ってきた春にただ草木だけがいたずらに生い茂っているばかりである。

2行目

この戦乱の時勢に本来楽しいはずの花を見ても、かえって涙が流れ一家の別離を恨んでは、慰むべき鳥の声を聞いても妻子への思いに心は揺れる。

3行目

烽火は何ヶ月も続き戦乱のやむ気配も無く、家族との音信も途絶えがちで一通の手紙も、万金にも相当するほど貴重に思われる。

4行目

募る憂いのためか白髪頭をかけばかくほど更に短くなって、とても簪をさすことなどできない。そのような詩で寒くなったのだよ寂しいのだよという詩です。

だいぶしゃべりしましたので吟をやってみたいと思います。気持ちを入れては吟ますけど情景などは今いった情景を思い浮かべていただきながらお聴きいただきたいと思います。

『春望』 杜甫 作

国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火三月に連なり
家書萬金に抵る
白頭搔かけば更に短く
渾べて簪に勝えざらんと欲す

杜甫の悲しみが少し分かっていただけかもしれませんでしょうか？ありがとうございます。何とか拍手をいただけないと帰れないかと思ってました。

もう一つ芭蕉の句の奥の細道。

奥の細道に出かけたのは1689年ですから、1603年に江戸幕府が出来てから元禄時代の2年目位、忠臣蔵が元禄14年ですからそのしばらく前ですけど、150日間位かけて2400km ずーと東北一円を歩きました。

平泉という東北の地名があるのですが、藤原家3代今の中尊寺金色堂とかありまして3体ミイラがありまして最後の泰衡の首まであるのだよといった話があります。

その中で芭蕉が平泉に行ったときにその句を読んだ。でも芭蕉はそこに行ったときに杜甫のことを思って行ったわけではないのです。

そこに行ったら義経は頼朝と一緒に戦っただけでも、最後は頼朝に叛意があるといわれて思われて奥州藤原家に逃げたのです。

藤原秀衡という三代目。清衡・基衡・秀衡その後泰衡となるのですが、その秀衡に頼った「俺も義臣すぐ」と書いてまして義臣というのは義のある忠臣です。

ところが秀衡が死んだ後息子の泰衡が、義経を守れという親父の遺言にも関わらず、頼朝と仲良くなって頼朝にいわれて義経を討ってしまう。

義経は高館のお堂の中で死ぬのです。嫁さん(静御前以外の)と死ぬのです。そのことを芭蕉は杜甫のことももの凄く好きで、杜甫の書を何本も集めていた人らしいです。

芭蕉はその義経主従のことが気になって、景色を見ながら「俺も義臣すぐつて此城にこもり、巧名一時の叢となる。」その後に『国破れて山河あり、城春にして草青みた』と書いてるのですが、「国破れて山河あり、城春にして」は先程の杜甫が作った詩なのです。

芭蕉は杜甫を敬愛していて、その詩を一句いただいてそこに自分の思いも入れた。実はその後の「草青みたり」というのも、実は杜甫が作った別の詩の中に出てくるのでそれも入れました。「笠打敷て」というのは本当は「草打敷て」なのですが自分は笠を持っていたので笠打敷てにしたんだという話もありました。

そのようなことでやっと日本に戻って来てもう少しということなのですが、最後「夏草や兵どもが夢の跡」夏草やというのは夏の季語です。兵どもというのは義経の主従であったり義経であったり。夢の跡というのはその高館で破れて死んだその思いを語っているわけです。遠くは李白、杜甫その時代の人達の戦火にまみれていた時代のことをいっている。

ちょっと最後俳句といって先程の詩吟とは少し違うのでそれを聞いてもらいたいと思います。

俳句

夏草や
夏草や
兵どもが
夢のあと
兵どもが
夢のあと

無事日本に帰ってきて最後まで吟詩きることが出来ました。

丁度時間となりましたので、また皆さんの心に何か残ればと思います。どうもありがとうございました。

◎閉会宣言
◎点 鐘

加藤 雄樹 S A A
高田 進 会 長

次週プログラム

青少年奉仕・RA委員会

2月21日(火) 「ローターアクト卓話」
帯広ローターアクトクラブ
会長 奥 朋聡 様
幹事 美濃 孝 様
理事 川瀬 千尋 様